

名古屋大学グローバルネットワーク

国際交流グループ

2024 年度活動報告書



名古屋大学グローバルネットワーク

2024 年度活動報告書

1. スモールワールド・コーヒーアワー活動報告
2. プレゼンテーションアワー活動報告
3. ヘルプデスク活動報告
4. 異文化交流サークル ACE 活動報告
5. NUFSA 名古屋大学留学生会 活動報告
6. 留学のとびら活動報告



スモールワールドコーヒーアワー Small World Coffee Hour

2024年度 活動報告

総合文責：岡田英美里

1. 団体紹介

Small World Coffee Hour（以下、コーヒーアワー）は国際交流イベントを企画・運営する団体である。留学生・日本人学生を問わず、様々な所属・学年の人が出会い、繋がる場を提供することを目的として、2005年後期に発足した。以降、イベント内容に工夫を凝らし、組織運営を円滑化することで、15年以上継続するに至っている。

1.1 理念

「国際的なコミュニティ作り」「言語能力の向上」「参加しやすいアットホームな雰囲気」を指針として、名古屋大学におけるさらなるGlobalization（国際化）を目指す。

留学生や国内学生をはじめとする様々な文化的背景を持つ人たちに、学内外で多くの交流の場を提供することを目的としている。それぞれの文化的背景を考慮した誰もが楽しめるイベントを行えるよう心掛けている。

1.2 特徴

- 有志の学生が中心となり活動している。（学部・学年・国籍は問わない）
- 誰でも参加できるオープンなイベントを月1回のペースで開催できるよう、企画・運営を行っている。
- イベントでは、参加者同士が話すきっかけとなるようなテーマを設定し、アクティビティを実施している。

2. 活動紹介

2.1 活動について

2.1.1 ミーティング

週1回の頻度で行い、企画書をもとにして、その月のコーヒーアワーのテーマや内容、役割分担、会場のレイアウトなどを決めている。各ミーティングでは、議事録を作成し、参加できなかったメンバーも内容を共有できるようにしている。

2.1.2 広報活動

各イベントのポスターを作成し、学内に掲示する。コーヒーアワーのFacebook、Instagramにポスターを投稿する。また、海外留学室等のメールで広報していただく。今年度はSNSやメールによる広報が中心であった。

2.2 コーヒーアワーについて

2.2.1 当日の動き(目安)

13:00～ ミーティング：イベントの企画、次のイベントについて

14:30～ 準備：会場で企画書に沿って設営開始／飲み物やお菓子を準備

14:50～ 受付開始

15:00～ イベント開始

16:30～ イベント終了、片付け

17:00～ 振り返りミーティング

2.2.2 今年度の振り返り

今年度は、新体制での活動を開始し、6名の学生コーディネーターが中心となってイベントの企画をした。月毎の大きなイベントとは別で、身近な多言語交流の場、「言語カフェ」を定期的に設けるなど、新しい形での国際交流に挑戦した。

イベント中も参加者がなるべく多くの人と交流、また自分の好きな言語で交流できるよう工夫したため、国内学生・国際学生相互の親善友好に一層本団体は貢献できたと考えている。

3. 年間行事記録

3.1 【6月】Speed Meet and Ice Cream Party

日時：2024年6月4日（火）

場所：国際棟 1階 ラウンジ

参加人数：41名



イベント概要：

参加した人とおしゃべり（Speed meet）して、休憩中にアイスなどを食べて楽しむ（Ice cream party）イベントを実施した。パワーポイントに出されるお題に沿って、5分間パートナーと喋り、次のお題ではまた別のパートナーと組むことで、より多くの人との交流を図った。質問は誰でも答えやすく、他の話題に発展しやすい質問をスタッフで考えた。

実施した感想：

まだ暑かったこともあり、たくさんの方がイベントに参加してくれた。当日参加した順番でアイスを配ったため、進行がスムーズに行ったのでとても良かった。

気づいたこと（改善点など）：

留学生の割合が多く、使用された言語が英語だけになっていた。留学生と交流をしたいけど英語に自信がない日本人学生や、日本語を練習したい留学生に配慮し、使用言語についてルールや案内があっても面白いと思った。

3.2 【6月】名古屋城トリップ

日時：2024年6月30日（日）

場所：名古屋城

参加人数：24名

イベント概要：



留学生に日本の歴史と文化に触れる機会を提供するため、名古屋城の見学および横丁での昼食を行う日帰りの野外活動を実施した。ひとグループ約5人ほどの、日本人と留学生を混ぜたグループを作り、名古屋城についての紹介を交えながら見学をした。昼食もグループごとにとり、親睦を深める機会とした。

実施した感想：

身近な歴史的建造物を見学する機会は、留学生にとって良かったのではないかと思う。また、さまざまな国籍の留学生が数多く参加したことから、日本の文化に興味を持つ留学生は多いのではないかと考えられる。お土産屋さんで日本らしいグッズを留学生が興味を持ってたくさん購入している姿も印象的だった。

気づいたこと（改善点など）：

スタッフの中には初めて名古屋城に行くメンバーもあり、グループの引率が難しく、全体の流れが滞ってしまうことがあった。野外の活動では、参加者全員が常に揃っていて安全が確保されていることが重要であるので、スムーズな進行のためにも、スタッフ全員で事前に下見をしたり、しっかりとルートを確認を行ったりする必要があると感じた。また、より多くの情報を留学生に伝えられるようにするためにも、予備知識などを紹介できるように準備していくことも大切だと感じた。

3.3 【12月】言語カフェ①

日時：2024年12月6日（金）

場所：国際棟1階 ラウンジ

参加人数：17名

イベント概要：



言語カフェの第1回では、参加者を四つのテーブルに分け、自己紹介カードを用いて10分間のアイスブレイクで会話をした後、20分ずつ英語だけで喋るセッションと日本語だけで喋るセッションを設け、トークテーマカードを引きながらの会話をを行った。最後には写真撮影とフリートークタイムを設け、他のグループの人ともコミュニケーションを取れるようにした。また、フィードバックカードを記入してもらい、スタッフメンバーで振り返りを行った。

実施した感想：

4人がけのテーブル4つがちょうど埋まるくらいの参加者が参加したので、規模感はちょうどよかった。また、時間配分について、会話が盛り上がるグループには少し短く感じられたが、全体としてスムーズに進めることができた。英語を喋る時間と日本語を喋る時間をしっかり分けることで、日本人にとっても留学生にとっても、会話を深めつつ、学びのある良い

時間にすることができたと思う。一部日本語が難しい参加者にはスタッフメンバーがサポートとして入ったことも良かったと思う。

気づいたこと（改善点など）：

タイマーが、時間になった時に音が鳴るように改善することで、より円滑に進むのではと考えた。また、日本人の参加者が少なかったため、留学生が日本語を学ぶ機会にするためにも、日本人に向けた広報や、より日本人も参加しやすいような開催場所や時間を検討していく必要があるといえる。

3.4 【12月】Movie Night

日時：2024年12月13日（金）

場所：国際棟 1階 ラウンジ

参加人数：23名



イベント概要：

ポップコーンを食べながら映画鑑賞をできるイベントを開催した。12月にちなんで、The Nightmare Before Christmasの鑑賞をした。映画を見るだけでなく、終わった後にトリビアクイズを行い、点数が高かった上位3名にお菓子をプレゼントした。

実施した感想：

始めにアイスブレイクを行ったことで、いい雰囲気イベントを進めることができた。映画の音声や字幕の言語も、当日多数決をとって決めたことで参加者全員に楽しんでもらったと思う。

気づいたこと（改善点など）：

参加者間の交流が最初のアイスブレイクのみだったので、トリビアを3-4人のグループで行うなどもっと交流を促進できる工夫をしてもいいと思った。

3.5 【12月】言語カフェ②

日時：2024年12月20日（金）

場所：全学教育棟 1階 S14

参加人数：17名

イベント概要：



参加者に、4つのテーブルに分かれて座ってもらい、20分間、日本語か英語のどちらか決められたほうだけでグループトークをした。机の上にあるテーマカードを引き、そのテーマについて話した。セッション1が終わったら、セッション2では言語を交代し、20分間その言語でトークした。セッション2終了後は全員で写真撮影をし、30分間自由トークの時間とした。

実施した感想：

1テーブル4～6人ほどがちょうど良く、アイスブレイクも含めてそれぞれがしっかり話す事ができた。全学教育棟で行ったため、日本人の参加者が今までと比べて増え、割合がちょうど良かった。

気づいたこと（改善点など）：

教室の場所が入り口から離れたところにあったため、教室までの案内や呼び込み担当を事前に決めたほうが良かった。集合写真を撮るのに時間がかかったので、次からは写真はなくても良いと思われた。

3.6 【1月】言語カフェ③

日時：2025年1月10日（金）

場所：国際棟 1階 ラウンジ

参加人数：7名

イベント概要：



言語カフェの前回のイベントと同じく、参加者は気軽に英語と日本語で話せるイベントでした。飲み物とお菓子も結構ありました。アイスブレイクの後、英語と日本語の20分ぐらいのセッションがありました。最後にフリートークの時間もありました。

実施した感想：

今回は参加者の人数は少なかったけれど、そのおかげで環境はさらに心地よくなりました。正月の時期に開催したからもう一度大学の人と話したがつってる人が色々いました。

気づいたこと（改善点など）：

一月の上旬は普通参加者が少ない傾向がありますから、少しテーブルのレイアウトを変えたらいいかもしれません。

3.7 【1月】書道

日時：2025年1月31日（金）

場所：国際棟2階 CALEフォーラム

参加人数：10名

イベント概要：



日本文化を体験してもらうために、書道イベントを開催しました。スライドで筆の持ち方や基本の書き方を説明し、スタッフが書くスペースと道具を準備しました。参加者は好きな漢字を書き、最後に一番よくできた作品を選んで共有しました。その後、参加者とスタッフで投票して「最も芸術的な作品」と「最も深い意味を持つ作品」を二つ決めました。勝った人にはお菓子をプレゼントしました。

実施した感想：

参加者は多くなかったですが、楽しいイベントになりました。留学生が日本文化を体験し、楽しんでくれて嬉しかったです。書道が得意な日本人メンバーがサポートしてくれたおかげで、誰も取り残されずに楽しめたと思います。中には172画の難しくて複雑な漢字に挑戦し、見事に書ききった人もいて驚きました。こうしたイベントに興味を持ってくれる留学生がいるのが、とても嬉しく思いました。

気づいたこと（改善点など）：

1月31日はまだテスト期間中だったので、忙しくて参加できなかった人もいたかもしれません。1月にイベントをやるなら、前半に開催し、後半は気軽な言語カフェにするのがよさそうです。また、参加人数が分からず、多めにテーブルを準備してよかったです。足りなくなるよりは良かったです。準備が必要なイベントでは、やはり申し込みフォームを作ったほうがよかったです。

4. メンバー紹介

Humberto Lopez Cobos 人文学研究科博士前期課程1年

日本に来てからもうすぐ2年経ちます。今までコーヒアワーでいろいろなイベントを開催する機会がありました。メンバーの皆さんの協力ありがとうございました。この一年間の経験を活かしてもっと楽しいイベントを開催したいです。2025年の春学期もよろしくおねがいします。

趙 文迪 国際開発研究科博士前期課程2年

2024年第2期から、ついにボランティアメンバーからコアメンバーになりました。研究の負担から解放され、学生時代最後の半年を国際交流に捧げられたことは、本当に貴重な経験だったと感じています。短期間で新しい組織体制へ移行したにもかかわらず、コーヒアワーのメンバーたちは斬新な企画を次々と生み出し、イベント運営を効率的にこなしていく姿に圧倒されました。その生命力と、国際交流への熱い情熱を肌で感じることができました。また、和気あいあいとアイデアを出し合い、イベント当日には日英で懸命に司会を務める後輩たちの姿に、かつての自分を重ねて胸が熱くなりました。思わず涙がこぼれるほど感動した瞬間もありました。このサークルで過ごした時間は短いながらもかけがえのないものであり、これから社会に出る自分にとって、ずっと力となり、背中を押し続けてくれると確信しています。

岡田英美里 G30農学部応用生命学科4年

今年度から体制を少し変更し、今までのコーヒアワーとは一味違う、定期的な国際交流イベントを開催しました。特に、留学生と国内学生の交流を促進することを目的とするだけでなく、参加者の「言語能力の向上」を目指しました。

この新しい体制での活動をサポートしてくださった先生方、また、一緒にイベントの企画を考え、一生懸命に動いてくれた仲間たちに心から感謝申し上げます。これからのコーヒアワーがどのような体制で進めていくのが最適か、みんなで相談しながら進めていきたいと考えています。

Dima 理学部化学科2年生

コーヒアワーの司会などをするのは楽しく、気づけばもう2年が経ちました。この2年でコーヒアワーに参加したおかげで、多くの新しい人と出会い、名古屋大学での生活がより楽しくなりました。イベントを運営するのはやりがいがあり、参加者の笑顔を見ると嬉しくなります。国際的なコミュニティを感じると前向きな気持ちになり、その一員として貢献できるチャンスがあって嬉しいです。

岩瀬千佳 農学部応用生命科学科2年

私は、大学に入ったら国際交流ができる団体に所属し、留学生の方々と関わりたいと考えていました。今では、留学生メンバーと共に協力しながら、大学内での国際化を活発化させる

ためにさまざまな企画を考えたり、より多くの学生が国籍を超えた繋がりを作れるようなサポートをしたりすることにやりがいを感じています。これからも楽しみながら、より広く、深いコミュニティを作っていけるよう、活動の幅を広げて行きたいです。

八木友羽 農学部資源生物科学科2年

大学では国際交流のサークルに入り、多国籍の留学生との交流を通して国際的な視野を広げたいと考えていました。コーヒアワーに入って、留学生も日本人学生も楽しめるイベントを自分たちで企画、運営することができ、充実感や楽しさを感じています。これからも、よりたくさんの人のニーズに合わせた、言語学習、国際交流のサポートができるよう取り組んでいきたいです。

プレゼンテーションアワー 2024年度 活動報告書

文責:坪内秀人

1. Introduction (English Ver.)

Presentation Hour is a casual event with the purpose of *ideas worth sharing*, where anybody can talk about anything from their hobby to possession. The special twist of this event is that the presentations made here consist of 20 slides, 20 seconds each. It is open to all Nagoya University members free of charge, and people from different faculties can join to listen to the presenters. We aim to create a relaxed atmosphere throughout the event by preparing coffee and snacks.

Presentation Hour first started as a special event of *Small World Coffee Hour* in 2014, after which it became an independent project, aiming to hold an event every semester, twice a year. Our goal is to create a platform for both Japanese and international students of different backgrounds and majors, to share their ideas, research topics, and feelings. Therefore, *Presentation Hour* is held in both Japanese and English.

In FY 2024, 2 *Presentation Hour* events were held, once in summer and once in winter. Since we had to operate with fewer members overall, we are seeking ways to organize the event to accommodate the situation by reducing the number of speakers and inviting speakers from among our acquaintances. In the summer event, the speaker lineup consisted of a high school student, two *Presentation Hour* members, and an international student. The program resulted as a fruitful event, as a wide range of topics were covered, including both scientific and social topics. In the winter event, the speaker lineup consisted of two international students, past *Presentation Hours* participants, and a graduate student. Throughout this event, as many as three members joined the organizing team. The fact that alumni also took part in the event made us feel that it has become a gathering place for alumni as well.

Since we could achieve the goal to recruit new organizing members that we set last year, our goals next year are to expand the possibilities of *Presentation Hour* by collaborating with other international groups as well as trying new things to make this event more interesting to the audience.

1-1. Basic ideas

Our goal is to expand the knowledge and horizon of all the audience by making the place where the presenters can tell the audience about their own experience, activities, and interests and the audience can get to know those ideas. We aim to make the event where presenters and participants can interact with each other, considering the difference of their cultural background.

1-2. Features

- Activities are mainly conducted by students regardless of their background
- We aim to hold one event open to everyone per semester and prepare for it.
- We make sure that presenters take care of the audience who have diverse values, backgrounds, and majors.

2. 団体紹介 (日本語版)

Presentation Hour(以下プレゼンアワーと省略)は、「Small World Coffee Hour」(以下コーヒーアワーと略)の特別企画として2014年に発足し、以来、年に2回、各学期に1回を目標にプレゼンテーションイベントとして企画・運営をする団体である。ただのプレゼンテーションではなく、20枚のスライド、それぞれが20秒と、簡潔に内容を伝えることが求められている。そして、留学生や日本人学生など多様な文化や専門をバックグラウンドとして持つ学生がアイデアを自由に共有する場所を提供することを目的としている。

2024年度は夏、そして冬の2回のプレゼンテーションアワーを開催した。全体的に少ないメンバーでの運営になったため、登壇者を減らしたり、知り合いの中から登壇者を呼んだりすることで状況に対応した開催方法を模索している。夏には、留学生、プレゼンアワーメンバー、高校生による登壇者の構成となった。理系、文系問わず幅広いテーマのトピックが取り上げられたことからとても充実した内容となった。冬には、過去のプレゼンアワーの参加者、交換留学生、大学院生といった登壇者の構成となった。この冬のイベントを通して3人の方が運営メンバーに加わっていただいた。また、同窓生も参加してくれたことから、同窓生にとっても集まる場所になっているように感じる。

近年課題になっていた運営メンバーの不足という課題を克服できたので、今年度は参加者にとってより楽しいゆったりとした国際交流の場にするために工夫を凝らすとともに、他の国際交流団体と共同でイベントを主催して活動の幅を広げていきたい。

2-1. 理念

留学生、日本人学生を問わず、プレゼンターが自分の経験、活動や興味を発信し、オーディエンスがそうしたプレゼンターの活動や考え方を知ること、参加者全員の知見を広げていくことを目標としている。それぞれの文化的背景を考慮した上でプレゼンターとオーディエンス、もしくはオーディエンス同士が交流を深めることができるように心がけている。

2-2. 特徴

- 有志の学生が中心となって活動を行っている(学部・学年・国籍は問わない)。
- 誰でも参加できるようなオープンなイベントを1学期に1回開催できるように企画・運営を行っている。
- プレゼンターには様々な価値観、文化や専門をバックグラウンドとして持つオーディエンスに対しての配慮(言語、文化、専門知識)をしていただくことを心掛けている。

3. 活動紹介

3-1. 活動について

ミーティング

週に1度(毎月3~4回)の頻度でお昼休みにZoomや対面でミーティングを行い、2ヶ月弱の準備で1回のプレゼンアワーのイベントを企画している。ミーティングではプレゼンター募集のチラシ作り、プレゼンターとの顔合わせ、リハーサル、プレゼンアワー当日のスケジュール相談、担当役割決めなどを行っている。

広報活動

スタッフはSNSにて、イベントの約1ヶ月前から広報活動を開始する。ポスターを作成し、プレゼンターの紹介や、リマインドを継続的に投稿する。また、事務の職員さんや先生方に協力していただき、各部局や学生が閲覧する掲示板への掲載をした。

連携活動

スタッフの数が少なかったため、過去の参加者、コーヒーアワーのメンバーなどに当日の運営、司会に協力していただきました。

3-2. 2024年度の活動

【7月 2024年度春学期プレゼンテーションアワー】 「第21回プレゼンテーションアワー ～世界が広がる20秒～」

日時・場所: 7月5日(金)17:00~19:30 @ 国際棟ラウンジ

参加人数: 約20人

当日の流れ:

- 16:00- 集合・設営
- 16:45- 受付開始
- 17:00- スタート
- 17:15- プレゼンター1
- 17:35- 休憩
- 17:45- プレゼンター2
- 18:05- プレゼンター3
- 18:25- スタッフ募集
- 18:45- プレゼンター4
- 19:00- クロージング、写真撮影、交流会



本日のスケジュール Today's Schedule

Time	Presenter	Title	Language
17:00		オープニング / Opening remarks	
17:15	坪内 秀人 Hideto Tsubouchi	生命とは何か? -物理学で解き明かす生命の本質- What is Life? -From Physics-	英語 English
17:35		休憩 / Coffee Break	
17:45	イヒョンジュ Hyunju Lee	世界を変えるための17の目標: 5. ジェンダー平等を実現しよう SDGs: Gender Equality	日本語 Japanese
18:05	土居 康之介 Ryunosuke Doi	なごやのカエルとその生態について About Frogs in Nagoya and Their Ecology	英語 English
18:25		スタッフ募集 / Staff Recruiting 休憩 / Coffee Break	
18:45	関口 心毅 Kokoa Sekiguchi	ポケモンのちょっと変わった楽しみ方 Strange Ways to Enjoy Pokémon	日本語 Japanese
19:00		クロージング / Closing remarks	

※イベントの間、写真やビデオの撮影をしております。
映りたくないという方は受付までお伝えください。
*During the event, we are going to take a video and photo.
If you would mind, please let us know at the reception.*

イベント概要

国際棟ラウンジでの対面での開催となった。今回は研究の話、社会問題、高校生による身近な話、趣味と学術を絡めた発表もあったことが特徴的であった。毎回同様、各プレゼンテーション終了後、日本語または英語での補足を行ったのちQ&Aセッションへと移った。様々な所属やバックグラウンドの参加者が集まり、意見の飛び交う、温かくもとても考えさせられるようなイベントだった。

実施した感想

研究に関わる話に加え、高校生が登壇し、幅広い登壇者の層であった。それに伴い高校生の参加者も見られた。そのため、Q&Aでも多くの質問がされ、ディスカッションにも繋がる機会となった。

気づき(改善点など)

1. スライドの文字化けが多く見受けられ、修正が大変だったため、pdf化したものを移すなどの工夫が必要であると感じた。
2. 司会の方に事前にサマリーを共有するなどすると、プレゼン後の言語サポートがスムーズになると感じた。

ポスター(日英)

The image shows two side-by-side posters for the 21st Presentation Hour event. The left poster is in English and the right is in Japanese. Both posters provide details about the event on July 5th, including the location at Higashiyama Campus, International Center 1F Lounge, and a list of presentations on topics like Gender Equality, Pokémon, Physics, and ecology. They also include registration information and QR codes.

当日の様子



登壇者と参加者の全体集合写真



プレゼン中の様子

【2024年12月 プレゼンテーションアワー】

「第22回プレゼンテーションアワー ～世界が広がる20秒～」

日時・場所: 12月8日(日)14:00～16:00 @ 国際棟ラウンジ

参加人数: 約20人

当日の流れ:

- 13:00- 集合(設営)
- 13:50- 受付開始
- 14:00- オープニング
- 14:15- プレゼンテーション1
- 14:35- 休憩
- 14:45- プレゼンテーション2
- 15:05- プレゼンテーション3
- 15:25- 休憩
- 15:45- プレゼンテーション4
- 16:00- クロージング、交流会
- 16:30- 終了、片付け

Time	Presenter	Title	Language
14:00		オープニング / Opening remarks	
14:15	リアゼンセフ ドミトリー Riazancev Dmitrii	ノーベル化学賞2021: 不斉有機触媒 Nobel Prize in Chemistry 2021: Asymmetric Organocatalysis	英語 English
14:35		休憩 / Coffee Break	
14:45	ソウカキ (曹 経新) Fusaei	旅行と哲学～マイナーな旅の楽しみ方 Travel and Philosophy: An Unconventional Way to Enjoy Your Journey	日本語 Japanese
15:05	ドウウコウ (董 宇航) Dong Yuhang	僕が出会った日本の18景 18 Views of Japan I Encountered	日本語 Japanese
15:25		休憩 / Coffee Break	
15:45	谷田 幸貴 Kobki Tanida	どうして広める価値あるアイデアなのか? どうしてアイデアが全てを変えるのか? Why Ideas Worth Spreading? Why Ideas Change Everything?	英語 English
16:00		クロージング / Closing remarks	

※イベントの間、写真やビデオの撮影をしております。
映りたくないという方は受付までお伝えください。
During the event, we are going to take a video and photo.
If you would mind, please let us know at the reception.

イベント概要

国際棟ラウンジにて開催した。今回は留学生による発表が多く、文化的多様性に富んだ会であった。参加人数こそ例年に比べ少なかったものの、かえってそれが発言しやすい雰囲気につながり、結果的には良い方向に作用した。また、比較的わかりやすいテーマが多く、積極的なディスカッションも見受けられた。

実施した感想

交換留学生による発表で似通ったテーマを異なる視点から紹介するプレゼンが見られ、日本人学生にとってもとても新鮮な内容であったのではないかと思う。また、専門的な内容についても分野の垣根を超えた交流が見られた。イベント終了後も参加者とプレゼンターの活発な交流がみられ、国際交流を促すという役割を果たせ、とても良かったように感じる。

気づき(改善点など)

- 準備段階でスムーズに行かなかったことが多かったため、その反省を次回以降の準備に活かしたい。
- 言語サポートについて、すべて日英翻訳すると冗長に感じたので、その場の雰囲気フレキシブルに対応できたらいいかと思った。
- マイクを複数接続する際、ノイズが多く、切り替えが大変であった。
- 知り合いで一つのテーブルに固まってしまう事例が見られたため、今後はなるべく分散できるよう工夫していきたい。

ポスター(日英)

The image shows two side-by-side posters for the 22nd Presentation Hour event. The left poster is in English and the right is in Japanese. Both posters provide details about the event date, location, and featured presentations.

English Poster (Left):

- 22nd Presentation Hour**
- ~ 20 seconds of inspiration ~**
- Come and listen to NU students talk about their research, interests and experiences while enjoying coffee, tea, and snacks!
- Dec 8th (Sun) 14:00~16:00**
- Higashiyama Campus, International Building 1F Lounge (free of charge & free to come and go)
- 18 Views of Japan I Encountered** (DONG YUHANG)
- Travel and Philosophy: An Unconventional Way to Enjoy Your Journey** (Fussell)
- Why ideas worth spreading? Why ideas change everything?** (Koski Tanida)
- Nobel Prize in Chemistry 2021: Asymmetric Organocatalysis** (Kisantsov Dmitrii)
- The presentations will be in English or Japanese. MC will support summarizing in both languages.
- Registration Form: <https://x.gd/Fxchs> (Walk-ins welcome!)

Japanese Poster (Right):

- 第22回プレゼンテーションアワー**
- ~ 世界が広がる20秒 ~**
- コーヒーやお茶やお菓子を飲みながら、名大生の研究・趣味・関心についてのカジュアルなグローバル・プレゼンテーションを聞きに来てください!
- 12月8日(日) 14:00 - 16:00**
- 東山キャンパス 国際棟 1F ラウンジ (参加費: 無料 途中入場・退出可)
- 僕が出会った日本の18景** (著: 宇航)
- 旅行と哲学~マイナーな旅の楽しみ方** (著: 住航)
- どうして広める価値あるアイデアなのか? どうしてアイデアが全てを変えるのか?** (著: 谷田 奇貴)
- ノーベル化学賞2021:不斉有機触媒** (著: リアザンゼフ ドミトリー)
- 発表言語: 英語、または日本語による発表の予定です (母会による、言語サポートを入れる予定です)
- 参加登録フォーム: <https://x.gd/Fxchs> (当日参加も歓迎です!)

Organizer: Nagoya Univ. Global Engagement Center
Support Team, e-mail: presentation.hour@gmail.com
Please check our Instagram for the presentation summaries!

主催: 名古屋大学グローバルエンゲージメントセンター 支援チーム
メールアドレス: presentation.hour@gmail.com
Instagramにプレゼンのサマリーを掲載しています! ぜひご覧ください!+

当日の様子



登壇者と参加者の全体集合写真



プレゼン中の様子

4. メンバー構成と心がけていること

- 修士2年生
尹道鉉(情報学研究科)

国際交流・気安い雰囲気・アカデミックの3つのキーワードに焦点を当てて、より良いイベントを開催することに心がけております。多国籍・異分野との触れ合いが同時にできるため、スタッフとして関わってきた2年間、コミュニケーション能力や学術的な能力が向上できたと思います。卒業後にも、発表者として参加するなど、引き続きプレゼンテーションアワーの活動に貢献したいと考えています。

- 学部3年生
坪内秀人(理学部)

文化的背景の違う人が意見を交換し合い、それを通して交流を深めるというとても素敵なイベントに惹かれ、運営に参加させていただいております。運営スタッフでは、国際交流イベントを作るという大変貴重な経験を通してたくさんの方のことを学ばせていただいています。私が国際交流に興味をもつきっかけを与えてくれたこのイベントをより多くの人に楽しんでもらうために来年度も頑張っていきたいと思っています。

- 学部2年生
関口心愛(理学部)

プレゼンテーションの多様性を尊重する姿勢がこの団体の大きな魅力であり、それこそが奇想天外で常識破りな発表や疑問と、学術発表のように肩肘張らず他分野同士でも臆せず語り合える寛容で活発な雰囲気を生む要因だと思います。この方向性を継承し、通常得られない好奇心に満ちた新たな知見をこれからも発掘出来るよう邁進したいです。

異文化交流サークル ACE 2024 年度 活動報告

文責： 渡邊康介

1. 活動概要

ACE(Action group for Cross-cultural Exchange)は、「交流・架け橋・ボランティア」を三大理念に掲げて、日本に来ている留学生を支援することをメインの活動とするサークルである。1988年6月に結成されてから、今年で37年目を迎える。

今年度は新型コロナウイルス感染症等による活動制限がなくなり、これまでよりもさらに大きなイベントを企画した。

また、毎週月曜日に行っているミーティングにも多くの留学生を呼ぶことができた。

2. 組織編成

名古屋大学を中心として、南山大学、名古屋市立大学、金城大学などからも学生がサークルに参加している。2年生の年代が運営代となり、イベントのチーフを担当する。

3. 2024 年度役職

代表 1名、副代表 3名、会計 2名

ミーティング 4名、食事 1名

Instagram 2名、X(旧ツイッター) 1名、ホームページ 1名

One Drive 1名、メール 1名

4. 2024 年度活動報告

4.1 今年度の活動目標

今年度は前年よりも留学生の参加者を増やすことを目標にした。

結果イベント、ミーティングどちらも多くの留学生が参加してくれた。特にミーティングに参加してくれる留学生が多く、一度きてくれた留学生が友達を連れて再度来るといった良いサイクルが形成されていた。

4.2 年間イベント一覧

4月 お花見企画 春季入寮支援 新歓活動 ウェルカムパーティー

5月 5月企画

6月 代替わり (真面目合宿)

7月 七夕企画

8月 キャンプ企画

9月 秋季入寮支援

- 10月 ハロウィンパーティー
- 11月 紅葉企画
- 12月 クリスマス企画
- 1月 正月企画
- 2月 バレンタイン企画
- 3月 リサイクル市協力（バザー企画）

4.3 各イベント概要

4月

お花見企画

日時：4月1日

場所：鶴舞公園

内容：桜の木の近くでレジャーシートをひきグループに分かれてお菓子を食べながらゲームをした。その後桜を散策したり、近くの屋台を日本人学生と留学生が混ざりながら各自楽しんだりした。

春季入寮支援

日時：4月1、2、3日

内容：大幸レジデンスで2日間に渡り実施した。留学生の入寮手続きとショッピングツアー、キャンパスツアーをした。留学生に積極的に話しかけようと頑張った結果、ミーティングに来てくれる留学生メンバーを増やすことができてとても良かった。

ウェルカムパーティー

日時：4月21日

場所：名古屋大学 アメニティハウス

内容：日本の文化をテーマとした各ブース（習字、折り紙、日本語クイズ）を各自周り、留学生と日本人学生が交流をしながら仲を深めた。新一年生と新しくきた留学生が多かった。

5月

逃走中企画

日時：5月25日

場所：天白公園

内容：テレビ番組の逃走中を模擬的に体現したゲームを鶴舞公園で実施した。ハンターには留学生もいて、日本のバラエティ文化を知ってもらえた。ACEのイベントの中で数少ない運動系のイベントであり盛り上がった。ミッションなども用意され活躍した参加

者には景品を用意した。

6月

まじめ合宿

日時：6月22日、23日

場所：柏屋（南知多）

内容：35期運営代と、36期運営代との交代を行った。また、グループ対抗のゲームやACEメンバーに関するクイズなどを行った。

7月

七夕企画

日時：7月7日

場所：アメニティーハウス 名古屋大学

夏祭りをイメージしたブース、抽選会、盆踊りをした。ブースの内容（輪ゴム鉄砲、オリジナル扇子作り、輪投げ、短冊）や盆踊りが好評だった。

8月

キャンプ企画

日時：8月13、14日

場所：愛知県民の森

テントとバンガローを借り、1泊2日でキャンプをした。班に分かれレンタカーで各班キャンプ場に向かい、到着後は薪で火をおこしカレー作りを行った。その後近くの温泉に行き、夜はキャンプファイヤーと肝試しを行った。2日目は川遊びをして帰路についた。

宿泊だったことと自然のなかでいつもと違う体験が行えたことで一気にメンバーの距離が近づくきっかけになった。

9月

秋季入寮支援

日時：9月17、18日

内容：大幸レジデンス（一部国際嚶鳴館）で2日間に渡り実施した。留学生の入寮手続きや書類記入を手伝う活動で、多くの1年生メンバーが参加した。また、待ち時間にハロウィンイベントやACEのチラシを配ったり、仲良くなってインスタグラムを交換したりして、日本での生活に慣れてもらうためのサポートをすることができた。

10 月

ハロウィンパーティー

日時：10月27日

場所：名古屋大学アメニティハウス

内容：仮装して留学生たちといくつかのグループをつくりグループ対抗のゲームを行った。

11 月

紅葉企画

日時：11月23日

場所：東山動植物園

内容：東山動植物園でグループに分かれ散策をするイベントを行った。前年よりも多くの参加者(特に留学生が増えた)が来てとても賑った。

12 月

クリスマス企画

日時：12月21日

場所：LDK 覚王山

内容：人間ビンゴ、クリスマスクイズ、ケーキ作りを行った。レンタルスペースの雰囲気がとてもよかった。ケーキ作りは各チームに違う材料を配り、出来映えで対決したがそのチームも素晴らしいできのケーキを作っていた。

1 月

正月企画

日時：1月18日

場所：名古屋学生青年センター

内容：けん玉や書初め、めんこなどをグループに分かれて行った。最後におしるこを配った。

2 月

バレンタイン企画

日時：2月22日 2024

場所：名古屋市中生涯学習センター

内容：レンタルキッチンにて、5グループほどに分かれて、マフィン、スノーボールクッキー、クッキーを作った。

3月

バザー企画（リサイクル市協力）

名古屋大学豊田講堂

Song for Earth サークルが実施するリサイクル市に NUFSA と合同で協力し、準備や当日のサポートなどを実施した。留学生が参加しやすいリサイクル市になるよう、ACE として言語の面などの協力を実施した。今後も発展させていきたい。

5. 来年度に向けて

来年度に運営代となる 37 期は人数も多く活発な人が多いので、今年よりもさらに ACE を盛り上げてくれるだろう。

また今年度新たに挑戦した名大祭への出展や、リサイクル市のバザー協力などもノウハウがたまってきており、さらに良いものが作れると確信している。

ACE が留学生にとって日本の中での居場所となれるようにこれからも活動を続けていきたい。

名古屋大学ヘルプデスク 2024 年度活動報告

1. ヘルプデスクとは

1.1. 概要

ヘルプデスクは、名古屋大学から公認を受けている留学生支援・国際交流団体である。活動内容は大きく3つに分かれており、NUPACE 学生を中心とした留学生の受入活動、国際棟ラウンジでの活動、そしてイベントの企画・運営である。受入活動では、担当する宿舎にて留学生が日本で新生活を始める際の支援を行い交流する。国際棟ラウンジでは、留学生の相談窓口としての役割を果たしており、学生生活や日常生活を支援することで日常的に留学生と交流している。また、定期的にイベントを企画し、多様な文化を持つ学生同士の交流の場を提供している。

1.2. 理念

私たちの活動の目的は、二つある。一つは、留学生が快適に充実した生活を名古屋大学で送ることができるように支援することである。もう一つは、日本人学生や留学生など多様な背景を持つ学生同士の国際交流や異文化理解を促進することである。

1.3. 構成員

名古屋大学の学部生から大学院生まで総勢 101 名で構成されている。

2. 2024 年度活動報告

2.1. 活動概要

文責：樋江井

今年度の活動の概要を以下の表にまとめた。今年度は、例年通り学期初めに入寮支援/買い物ツアーとウェルカムイベント/夕食ツアーを開催し、学期中には春学期・秋学期、それぞれ3回ほどイベントを開催した。また、表に記載されている内容以外に、週に一度のミーティング、国際棟一階のロビーにて留学生からの質問対応など、学期を通して活動を行った。春学期には、新入生向けの合同説明会に参加した。

月	内容	月	内容
4月	入寮支援/買い物ツアー, ウェルカムイベント/夕食ツアー	9月	入寮支援/買い物ツアー, ウェルカムイベント/夕食ツアー
5月	リトルワールドツアー	10月	ハロウィーンイベント
6月	ボウリングイベント	11月	紅葉ツアー
7月	七夕イベント (NUFSA と合同企画)	12月	Nupace ウィンターパーティー
		1月	クイズ大会

2.2.通年の活動

(1) ミーティング

活動について話し合いを行ったり、計画を立てたりするために、国際棟の教室を借りて週に1回程度昼休みにミーティングを行った。昨年度と同じようにオンライン会議ツールである「Zoom」を利用し、ハイブリッド形式のミーティングを実施した。参加メンバーはオンライン参加・対面参加を自由に選択することができ、メンバーのスケジュールに応じてより柔軟にミーティングに参加することができた。

(2) 国際棟ロビーでの質問対応

名古屋大学東山キャンパス国際棟 1階ラウンジに、机 3台、椅子 6脚、ホワイトボード 2つ、物品庫 1段からなるヘルプデスクコーナーがある。国際棟 1階のヘルプデスクコーナーにおいて、ヘルプデスクメンバーが留学生からの留学生活中の質問や相談について対応した。

(質問内容の具体例：手続きの場所がわからない、日本料理を学べるところを教えてください)

2.3. 春学期の活動

(1)入寮支援/買い物ツアー

文責：孫

・入寮支援

新規交換留学生(NUPACE 生)の入寮支援をサポートする活動であり、名古屋大学国際学生寮、国際嚶鳴館で実施。中身については寮生活における各種注意事項、手続きの情報を日本に来てまもない留学生と共有し、部屋の案内を行ったりした。前年度秋学期の反省を生かして、情報を各自確認できるように電子化して QR コードを配布したりした。

・買い物ツアー

入寮支援のサポートを受けた新規交換留学生 50 名が最低限の生活用品を調達するために、ヘルプデスクのメンバーの引率で八事イオンへ赴いた。

留学生から最も評判がよかったのは、安価で高品質の製品が手に入る”seria”であった。買い物の後、新規留学生の希望者はヘルプデスクのメンバーや継続生と夜ご飯の時間を楽しんだりした。

(2)ウェルカムイベント/夕食ツアー

文責：孫

・ウェルカムイベント

毎学期恒例、名古屋大学に来た交換留学生のために名古屋大学や名古屋をもっと知ってもらうために種々の出し物をするイベント。参加者は 70 名程度だった。名古屋大学クイズや日本紹介プレゼンテーションが出し物としてあった。クイズの方は参加者が積極的に関わっていたが、ヘルプのメンバーが前でスピーチをする出し物では、話を聞くことよりも参加者同士の交流が盛んに行われた。よって今後は参加者全員が活動できるような場を多く取り入れるべきであろう。

・夕食ツアー

ウェルカムイベントの後、留学生に名古屋大学の学食を知ってもらう、交流を深めることを目的にヘルプデスクのメンバーが引率し、北部食堂でグループに分かれて夕食を食べた。参加者は 70 名程度であった。食堂のスタッフには宗教的タブー等にも配慮してメニューを用意していただいた。一人一人その場でメニューを見て決めて注文をしていたためレジがかなり混雑し、秋学期ではその反省を踏まえてメニューの注文方法を改善した。

(3)リトルワールドツアー

文責：上川

ヘルプデスクのメンバーと交換留学生からなる約 6 人のグループで愛知県犬山市にあるリトルワールドに行った。リトルワールドは、日本や海外の伝統的な家屋や建築、民族文化に関する展示を行う野外博物館である。名古屋付近の観光地を紹介するだけでなく、留学生たちが自分の出身国の文化を紹介し合うことで交流を深めてもらうことを目的として開催した。参加者が自分の出身国のエリアを紹介したり、初めて食べる海外の料理を楽しんだり大いに盛り上がった。大型連休明けということもあってか、参加者はそれほど多くなかったが、その分参加者同士が深く交流できた。

(3)ボウリングイベント

文責：石川

ヘルプデスクと NUPACE 生合わせ 20 名ほどで本山のボウリング場にてイベントを行った。4-5 人で 1 レーンを使用し、少人数で親睦を深めることができた。1 ゲームごとにチームメイトを変更し、日本人学生も留学生もなるべく多くの人と交流できるよう努めた。

日本人学生の参加も多かったため、ヘルプデスク内の先輩後輩の交流を深めることができた。春学期が始まって落ち着いてきた頃に楽しくスポーツができるようなイベントを開催し、いろいろな人とコミュニケーションできるような機会を提供できた有意義なイベントだった。

(5)七夕イベント（NUFSA と合同企画）

文責：石田

7 月上旬、NUFSA との合同企画として、国際色豊かな交流イベントを開催した。このイベントは、G30 および NUPACE プログラムに参加する学生を対象とし、親睦を深めるとともに、日本の伝統文化である七夕に触れる貴重な機会を提供することを目的として企画された。

イベント前半ではアメニティハウスにて、30 名ほどの参加者が思い思いの願いを込めた短冊をしたためたり、趣向を凝らした提灯を制作したりと、七夕の風習を体感できる多彩なブースを展開した。参加者たちは、各々の興味に惹かれるブースを巡り、創造性あふれる作品を熱心に制作していた。イベント後半では会場を川名公園に移し、手持ち花火を楽しんだ。日本の夏の風物詩とも言える線香花火の儂くも美しい光景に、参加者一同、感嘆の声を上げていた。

2.4.秋学期の活動

(1)入寮支援/買い物ツアー

文責：樋江井

・入寮支援

9月下旬、交換留学生（NUPACE生）が国際喫煙館に入寮する際に、ヘルプデスクは入寮手続きの支援を行った。具体的には、入寮届の記入や寮の簡単な説明などを寮の管理人の方や居住学生と協力して行った。台風の影響で、一部の学生が入寮予定日に間に合わないというトラブルもあったが、全体としてスムーズに入寮の手続きを進めることができた。

入寮支援は、例年、留学生にとって、初めての名古屋大学の学生との交流の機会であり、また名古屋大学の学生にとっても、新しい留学生との交友を築くよいきっかけとなったように思う。入寮支援には、留学生が安心して日本での学生生活を始められるように支援するという意味合いもあるが、それ以上に異文化交流の機会となっていると感じた。

・買い物ツアー

入寮支援と同日、夕方に八事のショッピングセンターまで、30名ほどの留学生と一緒に生活に必要なものを買出しに行く、買い物ツアーを催行した。買い物ツアーでは、特にグループなどは設定せず、現地についたところで、自由解散とした。ヘルプデスクのメンバーは、主に日本での生活について質問に答えたり、必要なものについて留学生にアドバイスをするなどした。

(2)ウェルカムイベント/夕食ツアー

文責：石川

・ウェルカムイベント

9月から名古屋大学にきたNUPACE生の歓迎パーティーを行った。参加者は60名ほどだった。留学生同士の交流の機会を作るために自己紹介ビンゴを行い、日本人学生と留学生だけでなく留学生同士の会話のきっかけを作ることができた。また、名古屋大学の紹介動画の放映、名古屋大学や名古屋に関するクイズを行い、来日して間もない留学生に少しでも名古屋のことを知ってもらうことができた。

春学期のNUPACE生にとっては入寮支援後の初めてのイベントだったため、なるべく多くの人とコミュニケーションが取れるようなイベントにした。半年、もしくは一年間の留学期間をともにする留学生仲間を作るよい機会を提供できたように感じる。

・夕食ツアー

ウェルカムイベントと同日北部食堂にて 17:00 から夕食ツアーを開催した。ウェルカムイベントと同じく参加者は 60 名ほどだった。場所の確認だけでなく、食事の選び方、頼み方を一緒に確認することができた。ウェルカムイベントに参加した人ほぼ全員が参加したので大人数での移動、食事になった。事前にヘルプデスク学生が食堂にメニューを確認し夕食券を作成することにより、口頭で注文する必要がなくなりスムーズに進行できた。

ウェルカムイベントで交友を深めた学生同士がさらに仲良くなるよい機会だった。ベジタリアンの選択肢が少ないため、次回以降は事前にどのメニューがベジタリアンか確認して周知しておく必要があると感じた。

(3)ハロウィンイベント

文責：上川

秋学期から名古屋大学に来る交換留学生に対して、他の留学生や現地学生と交流を深めてもらうことを目的として、ハロウィンイベントを開催した。参加者は約 70 名ほどだった。イベントでは仮装コンテストを開催し、イベント参加者が日本のハロウィンにおける仮装文化を体験できるようにした。日本のアニメや漫画などのキャラクターの仮装をする参加者も多く、好きな作品の話で盛り上がる様子などが見られた。参加者が予想よりも多く、アナウンスなどが全体に聞こえないなどのトラブルはあったが、ヘルプデスクメンバーが呼び掛けて回るなどして対応し、大きな混乱はなかった。

(4)Nupace ウィンターパーティー

文責：孫

このイベントは NUPACE 生が主幹となって企画したもので、春に帰国する NUPACE にとっては最後の大型対面イベントとなった。参加者は 50 名程度であった。ヘルプデスクのメンバーは参加者、もしくは出し物をしてイベントに携わった。様々な催し物がある中、外部にケータリングを頼んだりして、心もお腹も満たされる会となった。参加人数が多い分、準備も片付けもスムーズに進み、このイベントの幹事である NUPACE 生もイベントの成功を喜んでいた。

(5)紅葉ツアー

文責：樋江井

11 月中旬、秋も深まってきたころ、紅葉ツアーを熱田の白鳥庭園で実施した。参加人数は 10 名程だった。当日は好天に恵まれ、絶好の紅葉狩り日和であったが、肝心の紅葉は進みが悪く、色づきは期待したほどではなかった。しかし、紅葉がなくとも、白

鳥庭園の植栽はそれだけで美しく、日本庭園の魅力を楽しむことができた。参加した留学生は日本庭園に行くのが初めてという学生が多く、彼らにとって日本の文化の一つである日本庭園の中を散歩するという経験はとても新鮮なものであったのではないかと思われる。



(5)クイズ大会

文責：樋江井

1月中旬、国際棟にてウェブアプリ「Kahoot」を用いて、クイズ大会を実施した。参加人数は10人程度であった。クイズの内容は名古屋や日本文化、英語文法など多岐に渡る内容を出題した。優勝者には賞品を用意した甲斐もあつたか、大会は非常に盛り上がり、多くの参加者にとって楽しめるイベントとなった。ウェブアプリ「Kahoot」をイベントに用いるというのはヘルプデスクにとって、おそらく初めての試みであったと思われる。近年、こうした便利なツールがネット上に登場しているので、適宜活用していくことも今後の活動を盛り上げるために非常に有効なのではないかと感じた。



3. 資料

3.1. 団体設立

設立年月 2005 年 4 月

設立場所 名古屋大学留学生センター1 階 105 号室（海外留学室）（名古屋大学国際棟 1 階） 設立教員 名古屋大学留学生センター短期留学部門助手 筆内美砂（名古屋大学グローバル・エンゲージメントセンター国際教育チーム）

設立協力 名古屋大学留学生センター教育交流部門（名古屋大学グローバル・エンゲージメントセンター支援チーム）

3.2.沿革

2005 年度	学生が参加を呼びかけられる
	「留学生からの質問対応」開始（2 週間に渡り実施）
2006 年度	「留学生からの質問対応」活動期間を 3 週間とする
2008 年度	「留学生からの質問対応」活動後にイベントを初開催。「書き初め会」開催

2009年度	国際嚶鳴館「出張ヘルプデスク」開始
2010年度	名大祭「フリーマーケット」開始
2011年度	生協ダイニングフォレスト「夕食ツアー」開始
2012年度	国際嚶鳴館「ウェルカムパーティー」開始
2018年度	平成 30 年度名古屋大学総長顕彰採択
2019年度	Instagram「NU HELP DESK」開始
	国際棟ラウンジ「第 1 回ヘルプデスク同窓会」開催
2020年度	YouTube「Nagoya University HELP DESK」開始
	Twitter「NU HELP DESK」開始
	LINE 公式アカウント「HELP DESK」開始

名古屋大学留学生会

Nagoya University International Student Association (NUFSA) Academic Year 2024 Activity Report

Compiled by HALIM Clarissa Masako

1. About NUFSA



Nagoya University International Student Association (NUFSA) is a diverse student-led organization founded by Nagoya University in 1985. Our primary objective is to bring together all international students enrolled in Nagoya University and visiting scholars. Our mission is to create a sense of community by facilitating intellectual, cultural, and social exchanges among international students, domestic students, faculty, and staff. We also foster understanding of diverse cultures and help to develop a cosmopolitan outlook among foreign

students, and between foreign students and Japanese students. Finally, we serve as support to incoming international students in adjusting to their new cultural setting in Nagoya and creating opportunities for networking.

1.1 Name

NUFSA is short for Nagoya University International Student Association (名古屋大学留学生会). It originally stood for Nagoya University Foreign Student Association. However, in 2015, it was decided that the association would be renamed to Nagoya University International Student Association (while keeping its initial abbreviation – NUFSA) to embrace the global and international student base of Nagoya University.

2. Membership

NUFSA membership is free of charge and can be granted to any students (foreign and Japanese) enrolled in Nagoya University, regardless of their nationality, major, schools, degrees, etc. NUFSA new members recruiting period happened twice a year, once during spring semester and once in fall semester.

3. The structure of our activities

3.1. Weekly meetings

NUFSA members have meetings every week during the semester. In 2024, to ensure all of the members can attend the weekly meeting as much as possible, we had alternating weekly meetings for Thursday and Friday at lunch time (12.15 – 12.45). During meetings, members discuss potential activities and plan them out together. The minutes of meetings are written down and shared online by the secretary every week.

3.2. Event planning

The events are planned and organized by NUFSA members who are interested in joining the organizing team. To prepare for the events, members will have another meeting aside from the weekly meeting, and the organizing team will be led by 1-2 leaders. On the day of the event, there will be NUFSA members aside of the organizing team who volunteer to help organizing the event on the day.

3.3. Teams

Besides the temporary event planning teams, we have Social Media and Human Resources teams that exist throughout the entire year.

- Social Media Team: in charge of promoting our events and projects on Instagram
- Human Resource Team: in charge of new members recruitment, organizing members' data, tracking members' past projects, and organizing internal events (Events for NUFSA members only)

4. Support and collaborations

NUFSA is receiving support from various organizations. We are financially supported by Nagoya University Foreign Student Support Association, and we regularly receive technical or organizational support from Nagoya University Global Engagement Center. In 2024, we also collaborated with inter-university organization, such as TUFSA (Tohoku University Foreign Student Association) and intra-university organizations such as COFSA, NU Help Desk, and ACE to hold events.

4.1. Japanese Course for Families

NUFSA has been a collaborator of Japanese Language & Culture course for foreign students' family members since this program started in 1987. We continue to participate in their events.

5. 2024 Activities

5.1. ACE X NUFSA: Spring Welcome Party (April)

To welcome the new students at Nagoya University, ACE and NUFSA collaborated together to host a welcome party. We made activity booths, such as an origami making booth, a trivial quiz booth, and a Japanese traditional Calligraphy booth.



5.2. Meidaisai 2024 (June)

NUFSA chose “NUFEST”, which is the combination of the word “NUFSA” + “Festival”, for our booth's name in meidaisai 2024. This year, we incorporated 4 games and 3 crafts activities from all over the world to introduce to participants. Additionally, we also had a raffle system and the interactive board map for visitors to do. Our booth had attracted a lot of interest from both international students and Japanese people of all ages who came to meidaisai.



5.3. NUFSA x NU Help Desk: Tanabata 2024 (July)

With the aim to introduce Japanese Culture to the international students at Nagoya University, NUFSA collaborated with NU Help Desk to hold a Tanabata event. The event was divided into two main sessions: the afternoon and the night session. The afternoon session was held in Amenity house, and we had 4 activity booths: making paper lanterns, making Japanese festival masks, calligraphy, and hanging the tanabata wishes at a bamboo tree. In the night session, participants gathered in Kawana Park for hanabi activity.



5.4. NUFSA Spring Semester Team Building Activity (July)

To strengthen the bond between members, NUFSA decided to hold a team building activity (internal event) at the end of the semester. We organized a picnic at the beach, while playing games, exchanging letters, playing hanabi, and had a farewell - otsukare party for our graduating seniors to appreciate their efforts and help that they provided to NUFSA.

5.5. NUFSA Visit to Poppins After School (August)

NUFSA visited the university's Poppins After School childcare center with the aim of sharing a part of our diverse international backgrounds and introducing our culture to the kids. This year, we brought several traditional games and crafts for them to enjoy.

5.6. NUFSA Summer Water Fight Event (August)

NUFsplash, held on August 10, 2024, at Kawana Park, brought together students for a fun-filled afternoon of team-based activities. The event featured three engaging phases: an icebreaker where teams created cheers, an Amazing Race with various challenges, and a thrilling PUBG-inspired water fight as the finale. Participants showcased teamwork, creativity, and enthusiasm throughout, making the event a vibrant celebration of camaraderie and summer fun.



5.7. NUFSA x AO: Online Event / NUFSAK (August)

NUFSA x AO is an online event suggested by the Admissions Office to welcome the incoming G30 students before they officially come to Japan. The purpose of the event was to break the ice between the new students and allow them to interact with NU students (NUFSA) directly. On the first day, NUFSA conducted several online games to be played together. Then, on day 2, NUFSA facilitated some online talks about daily life of being a student in Japan, travel tips, academic-wise challenges or tips, work, and so on. We also made some Q and A sessions to let them inquire more about NU as an overall.

5.8. NUFSA x TUFSA: Game Night (October)

TUFSA (Tohoku University Foreign Student Association) and NUFSA aimed to strengthen the bond among international students from different universities across Japan, by creating collaboration events between international student bodies from different universities across Japan. Therefore, we made a mini online collaboration event for TUFSA and NUFSA admin team members to get to know each other first. In this event, we played online games, such as 2 truth 1 lies and Jackbox.

5.9. NUFSA x ACE: Fall Welcome Party – GALACTICA (October)

This year's Fall Welcome Party was held in collaboration with ACE and based on the theme 'Galactica'. The party was held at Rin Dance School Motoyama and the attendees included new & old G30 students, NUPACE students and students from the Japanese program. The party provided an opportunity for people to interact with each other and socialize while dancing. There were games such as the Phone Bingo, which culminated in the final Among Us battle to identify the alien imposters, and also a dance battle and catwalk. Through the party, the new students were welcomed into the university, and everyone got a chance to unwind before midterms season began.



5.10. NUFSA x COFSA: Meidai's Got Talent Season 3 (Final round: November)

With the aim to give an opportunity for students to showcase their talent, NUFSA and COFSA collaborated together to hold a talent competition - Meidai's Got Talent Season 3. Participants

were first being asked to send their audition video online and the organizers chose 10 finalists to perform on November 15th, 2024, in front of the audiences and the judges. The participants' performances range from singing, playing musical instruments, to traditional and modern dancing.



5.11. NUFSA Christmas Event: NUF SANTA (December)

Marking the final external events of NUFSA in 2024, we want to bring joy and excitement to all university students. This event leads participants through Games and Crafts activities. For Crafts, we have Cookies, Bracelets, and Candles decorations. We are wrapping everything with some Christmas sweets in a gift box for everyone to bring home as their own Christmas present. Crafting happens simultaneously with Christmas Games. These games aim to bring all participants together, bonding and making new friends between Japanese and International students through one of the most exciting holidays of the year.



5.12. NUFSA Christmas Internal Event: otsukare-sama party (December)

As the year is coming to an end, NUFSA wants to celebrate an otsukare-sama and Christmas party for all of the members to appreciate their hard work and effort in NUFSA. We also hope that the bond between members can be strengthened while exchanging gifts and playing different types of games.

6. Our contacts

Facebook: <https://www.facebook.com/nufsajp/>

Instagram: https://instagram.com/nufsa.nagoya_university/

Email: nufsa.nagoya@gmail.com

留学のとびら 2024 年度 活動報告書

文責：平松 莉奈、石川 幹、森 瑞稀、縄島 航

留学のとびらについて

留学のとびらは、名古屋大学学生(以下名大生)の留学支援を目的とし、実際に名古屋大学の留学プログラムに参加した留学経験者及び留学希望者によって運営されている名古屋大学海外留学室公認の学生団体である。名古屋大学の各種留学プログラムの中でも特に、一学期間以上の長期留学である交換留学のための支援を主な活動内容としている。多様な留学経験を持つメンバー同士、目的達成に向け活発に話し合い、企画を立て、時には海外留学室と協力しながら実行に移すといった自律的かつ活発な姿勢が団体の特徴である。

留学のとびらの理念

1. 世界を知り世界に通用する名大生の輩出

名古屋大学ではこれまで以上に多数の学生を留学に輩出することを目標としている。本団体では留学を希望する名大生に情報収集の場を提供し、また留学を検討していなかった学生にも留学の魅力を伝え、多くの名大生の留学のきっかけになるような場を創造することで、将来的に世界に向けて活躍する名大生の育成の機会へ繋げる。

2. 交換留学コミュニティの形成

他大学と比較すると、本学の交換留学経験者の繋がりは薄い。それを改善するため、留学が決まった学生から帰国した学生までを対象に懇親会や交流会、また SNS を活用したネットワークを運営している。

3. メンバーの個性とリーダーシップの発揮

メンバーの一人一人が個性とリーダーシップを発揮し、互いの成長を刺激し高め合う。多様な価値観を相互に尊重し合い、メンバーの大学生活の充実を支える笑顔あふれる団体であり続ける。

設立の経緯

「留学のとびら」は 2009 年度に留学から帰国した学生らが設立した。留学を終えたメンバーが中心となって構成されていたため、在籍できる期間も短く流動的であったことから運営が停止し、海外留学室が主体となり再設立されることもあった。加えて、2020 年度より新型コロナウイルス感染拡大により海外渡航が制限されたことから「留学帰国生」から「留学帰国生及び興味がある人」と幅広くメンバーを勧誘する方針へと変えた。

メンバーについて

留学帰国生、交換留学に内定した学生、留学に興味がある学生にて構成されている。

法学部 4 年	平松 莉奈
工学部 4 年	石川 幹
経済学部 4 年	那須 万莉香
文学部 3 年	森 瑞稀
理学部 2 年	関口 心愛
工学部 2 年	縄島 航

2024 年度活動状況

2024 年 4 月-	LINE 公式アカウントでの質問・相談対応（年間通して実施） 合同説明会 交換留学行ってらっしゃい&お帰りなさい会
5 月-	短期留学座談会
6 月-	English Café
7 月-	English Café
8 月-	留学計画ワークショップ
10 月-	交換留学座談会 短期留学座談会
11 月-	English Café
12 月-	English Café

活動内容詳細

LINE 公式アカウントでの質問・相談対応

文責：平松 莉奈

LINE 公式アカウントを用いて、留学準備や興味のある学生がいつでも気軽に質問できるプラットフォームを作っている。応募書類の添削や、面接対策、または奨学金獲得のためのアドバイスなど交換留学や短期研修に関わるあらゆる質問を常時受け付けている。2024 年度は約 15 件の質問や相談に対応した。実際に留学や奨学金に合格したという報告を聞いたり、留とびの対応がきっかけに留とびの活動に関わってくれたりする人もいた。ただ、現在の留とびに留学経験者が多くいないことから、対応が遅くなったり、相談者にとって最適な留学経験者を紹介できなかつたりする時があった。そのため今後は、運営メンバーに留学経験者が少ない中で、どのように質問対応の質を維持・向上していくか、改善策を講じる必要があると考える。

合同説明会



文責：平松 莉奈

日時：2024年4月9日（火）13:00-16:00、4月24日（水）
12:10-12:50

名古屋大学で活動する複数の国際交流団体で協力し、新メンバーを勧誘するために合同説明会を開催した。各団体がブースを設置して説明を行い、留学のとびらはイベントとして留学ランチを開催した。多くの学生に対面で留学のとびらの魅力を伝えることができたため、多くの人に関心を持ってもらえた。だが、興味を持ってくれた人を実際に活動へと巻き込み、継続的に活動に参加してもらうことが課題であると感じた。

交換留学行ってらっしゃい&お帰りなさい会

文責：森 瑞稀、平松 莉奈

日時：2024年4月10日（水）18:30～

参加者数：10人

留学オリエンテーション後、2024年度交換留学に派遣予定の学生・2023年度の交換留学から帰国した学生・留学のとびらメンバーで食事会を開催した。同じ時期に交換留学に派遣予定の仲間と交流し、同じ時期と一緒に頑張ろうという仲間意識を持ったり、留学前後の話を踏まえて留学準備や留学後のスケジュールなどの情報交換したりできる機会となった。一方、2023年度の交換留学から帰国した学生の参加人数が少なかったことから、先輩後輩間での交流があまりできなかった。留学のとびらメンバーを増やすという目的を鑑み、今後はより帰国する学生の参加を増やしたいと考える。

短期留学座談会



文責：平松 莉奈

日時：2024年5月10日（金）10月30日（水）
12:10-12:50

参加者数：5月10日 19人、10月30日 8人

夏季・春季の短期留学に参加する学生を対象に短期研修座談会を行った。5月はオレゴン大学、ノースカロライナ州立大学、チュラロンコン大学への短期留学経験者に体験談を話していただき、その後質疑応答を行った。10月はオレゴン大学、西オーストラリア大学、ノースカロ

ライナ州立大学への短期留学経験者を招いて同様の形式で開催した。

昨年と同様、参加者の人数や短期留学経験者に熱心に質問をする参加者の姿から、学生の短期留学への関心の強さが伺えた。今後は短期留学経験者が交換留学や留学のとびらの活動に興味をもち、参加してもらえるようにより継続的な取り組みを行っていくことが必要であると考えられる。



English Café



文責：平松 莉奈

日時：2024年6月19日（水）、6月26日（水）、
7月10日（水）、11月20日（水）、
12月11日（水）全て12:10-12:50

参加者数：計41人

昨年度に引き続き「English Café」を開催した。このイベントは留学に行きたいが英語力に不安を持つ学生のための英語学習を目的としている。今年度は英語で短編の映画や動画を視聴し、その内容について英語で議論する形式・word wolfなどのゲームを用いて英会話を行う形式などを開催した。その中でも Debate では、英語を通して少し高度なことを議論することで実際の留学先でも使える英語力・自分の意思を主張する力を楽しみながら鍛えることができた。来年度以降も様々な形式を用いながら、留学希望者の英語力が向上できるイベントを開催していきたい。

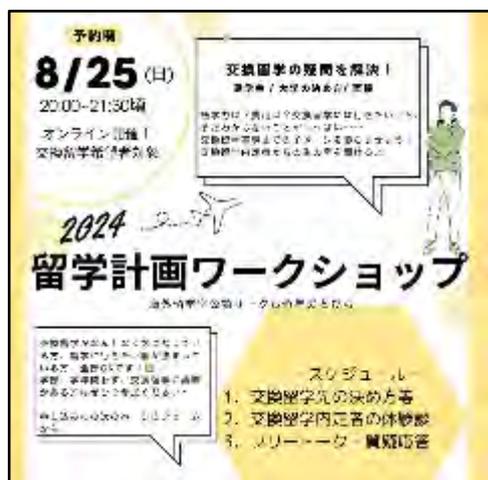


留学計画ワークショップ

文責：縄島 航

日時：2024年8月25日（日）20:00-21:00

参加者数：15人



海外留学室が主催する留学準備 IELTS 講座の一環として留とびが例年留学計画ワークショップを企画運営している。今年度は例年と異なり、別々の企画として独自にオンラインにて実施した。

参加者には大学生生活を見据えた留学計画の立て方、留学先の選び方、シラバスの見方など、留学決定までの道のりの計画を伝授した。留学内定者が講師として登壇した。このことにより、留学生生活をより身近に感じてもらい、内定したての留学内定者からは、大学の選び方や志望理由の作り方に関してより具体的な経験談を聞くことができた。また、オンラインの開催にしたことにより登壇者と視聴者の距離が近くなり、質問

が多数行き交う場面もみられた。留学計画ワークショップは、交換留学希望者を前提として行っているが、傾向として海外大学院に進学を希望する学生の参加が増えているため、事前に参加者の留学形態に関する希望を聞いた上で、ワークショップを開催できるとより良いと思う。そして参加人数も少ないことから、今後は開催の時期や方法・広報の仕方に関してより工夫して行っていきたい。

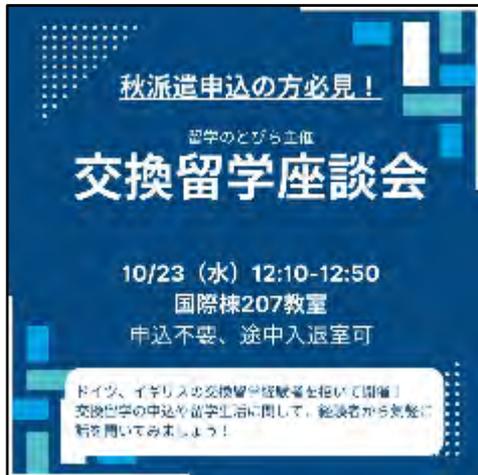
交換留学座談会

文責：石川 幹

日時：2024年10月23日（水）12:10-12:50

参加者数：21人

交換留学の秋派遣募集に興味がある人向けに、現在留学中の留学経験者 3 人を招待し話してもらった。開催時の気候や学校生活、日常生活など、実際の生活を現地から伝えてもらうことでよりリアルな体験談を聞くことができたように感じる。登壇者から生活で苦労している点や留学先でしかできない経験などを聞くことができ、有意義な座談会になった。3 人共ヨーロッパへの留学経験者であったが、締め切り前ということで国や地域にとらわれず、志望理由や奨学金など手続き面での質問も多かった。



来年度へ向けて

文責：縄島 航

来年度は今年度も開催していた交換留学座談会や English Cafe の開催・内容のアップデートに加え、留学経験者の声を SNS で発信していく企画など、現在計画中的の新企画を進めていく予定である。また、留学のとびらを運営するメンバーが少人数の状態であるため、新入生や留学経験者に対する説明会など、メンバー募集活動を強化することで、メンバーを増加させ、活動の幅を広げていきたいと考えている。最終的には、留学したいが悩んでいる学生の気軽に頼れるサードプレイスとなれるようにサークルを順次拡大していき、名古屋大学から留学に行く学生の数の増加の力になりたい。